

感染対策室ニュース

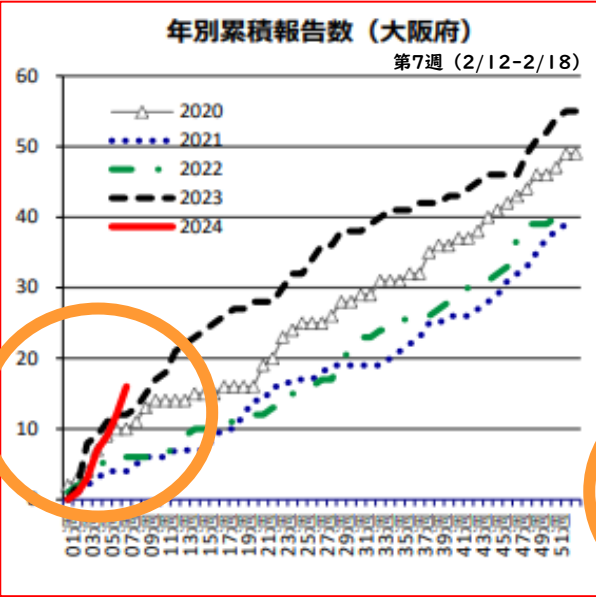
2024年2月28日 大阪南医療センター発行



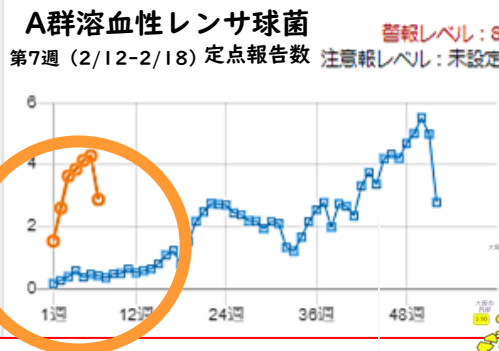
劇症型溶血性レンサ球菌感染症の急増

(通称:人食いバクテリア)

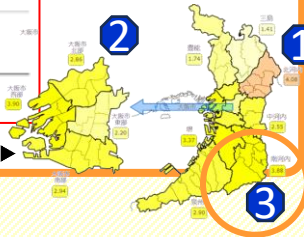
劇症型溶血性レンサ球菌感染症定点報告



大阪府では2023年の報告数は過去10年間で2番目に高かった！2024年になって上昇中！原因菌のA群溶血性レンサ球菌(Streptococcus pyogenes)感染症が増加傾向にある・・・原因菌が地域で増えているので、劇症型も増加傾向。感染し劇症型となっている場合は、極めて死亡率が高く、病状進行が非常に急激かつ劇的。



動向に注視して、感染しないよう予防行動と、早期発見、早期対策の実施を心がけましょう



大阪府感染症情報センターHp感染症発生動向調査週報より一部改変

A群溶血性レンサ球菌報告数マップ▶

感染の原因と感染経路と感染対策

(参考) 国立感染症研究所HP
劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは (niid.go.jp)

病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症：(定義) β溶血を示すレンサ球菌を原因とし突発的に発症して急激に進行する敗血症性ショック病態のこと 5類感染症(全数報告対象) *治療はペニシリン系抗菌薬が第一選択
原因菌	主にA群溶血性レンサ球菌
症状	初期：悪寒と発熱、頻脈、頻呼吸、嘔気嘔吐、四肢の疼痛 24-48時間で軟部組織が壊死し、血圧の急激な低下、多臓器不全を引き起こす
感染経路	傷口からの感染・のどや鼻の粘膜からの感染 飛沫接触感染
感染対策	①咽頭痛のある感冒様症状を放置しない ②傷の管理をする、創部の清潔を保ち症状があればすぐに受診する ③飛沫・接触で感染は伝播するので標準予防策を徹底する

予防行動

うつつさない
もらわれない
拡げない

手洗い励行

流行期は
こまめな
手洗いが吉



咳エチケット

流行期は
マスク励行



咳くしゃみのある人はマスク

環境整備

- 医療機関では、流行期には定期的な高頻度接触部の清掃
- 患者や職員に、手指衛生や咳エチケットをしてもらえる環境づくりが大切